



■流入部 平成27年3月撮影  
鋼管を打込み、止水のための壁を作っています。

■ゲート室部立坑 平成27年3月撮影  
巨大な立坑の深さは約50メートルあります。

■減勢池部 平成27年3月撮影  
減勢池部のトンネル掘削を始めました。



■流入部 平成27年3月撮影  
鋼管を打ち込んでいます。

■導流部 平成27年3月撮影  
現在もトンネル掘削を進めています。

■新白虹橋（仮称） 平成27年3月撮影  
橋台（パラペット）を作っています。

府道大津南郷宇治線 発破作業に伴う一時通行規制のお知らせ

- 1) 規制箇所 宇治市宇治金井戸地内
- 2) 規制期間 平成26年4月2日～平成27年5月30日
- 3) 規制内容 平日(月～土)昼夜に4回/日程度 一時通行止め(1～3分程度/回)

関西電力(株)所有私道 通行止め(車両・歩行者)のお知らせ

- 1) 通行止め箇所 宇治市宇治金井戸
- 2) 通行止め期間 平成25年10月10日～平成28年3月31日
- 3) 通行止め内容【終日】車両通行止め  
【発破作業日】歩行者通行止め(平成27年3月30日～)

市道 山王仙郷谷線等 通行規制のお知らせ

- 1) 規制箇所 宇治市宇治金井戸～宇治市志津川仙郷谷
- 2) 規制期間 平成25年10月10日～平成27年8月31日
- 3) 規制内容【終日】片側交互通行  
【発破作業時】一時通行止め(歩行者含む)  
平日(月～土)に4～8回/日 一時通行止め(5分程度)
- 4) その他 工事内容により、夜間通行止め(21:00～6:00)を行う場合があります。その際は、事前に現地お知らせ看板等でご案内いたします。

天ヶ瀬ダム再開発事業の工事に伴い、上記のとおり道路の通行規制等を行ないます。詳しくは下記のHPをご覧ください。  
>>> <http://biwakokasen.go.jp/info/constinf/index.html>

『魅せる！現場』やっています！

近畿地方整備局では、地域の皆様に我々が実施している事業の現場を実際に“目で見て”知って頂くため、一般の方を対象に普段は立ち入りを制限している工事現場等の見学を実施しています。琵琶湖河川事務所でも、水路トンネルとしては『日本最大級のトンネル』を建設する天ヶ瀬ダム再開発事業において、工事現場見学を受け付けています。工事現場で、驚きや新たな発見がきっと見つかると思います。

～ 現場見学条件 ～

- ★ 見学場所：京都府宇治市
- ★ 見学は原則平日に行きます。
- ★ 見学の1ヶ月前までに事前予約をお願いします。
- ★ 見学のご予約は10名以上の団体で20名様程度までに限らせていただきます。
- ★ 見学は現地集合をお願いします。
- ※ 工事の状況等により、見学日時等をご希望に添えない場合がございます。

お問い合わせ・申込み

- ★ 国土交通省 近畿地方整備局 企画部企画課 企画二係
- ★ 電話：06-6942-1141 F A X：06-6942-7463
- ★ Email：otayori@kkr.mlit.go.jp
- ※詳しくは、近畿地方整備局HP『魅せる！現場』内をご覧ください。  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/genbakengaku/index.html>



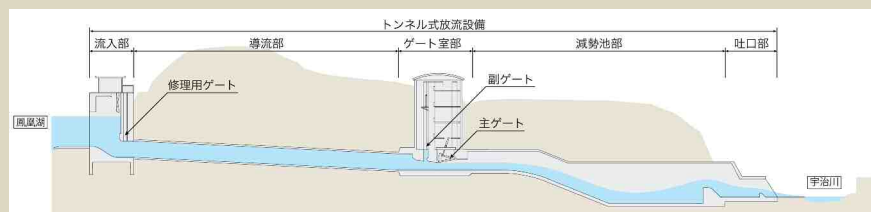
特集：再開発事業の構造物の概要

平成27年4月撮影

# 天ヶ瀬ダム再開発事業の『構造物の概要』を紹介します

## 構造物の概要

天ヶ瀬ダム再開発事業は、トンネル式放流設備を整備することでダムの放流能力を高め、天ヶ瀬ダムの能力（洪水調節・水道水の確保・発電）をパワーアップさせるものです。このトンネル式放流設備は、全長617メートルあり、「流入部」、「導流部」、「ゲート室部」、「減勢池部」、「吐口部」で構成されています。また、今の白虹橋が吐口部に当たるため、架け替えを行います。

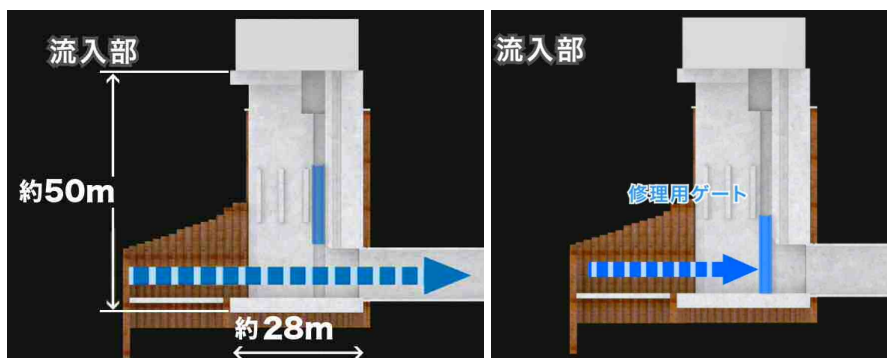


## ■流入部

流入部は直径約28メートルの円筒形の構造物で、ダム湖の水を深さ約50メートルのところから取り込む施設です。緊急時や修理をするときに水を遮断するためのゲートが1門あります。ゲート操作機械が設置される建物は、“鳳凰湖との調和”をコンセプトに、形状、窓の配置、意匠等を工夫しました。



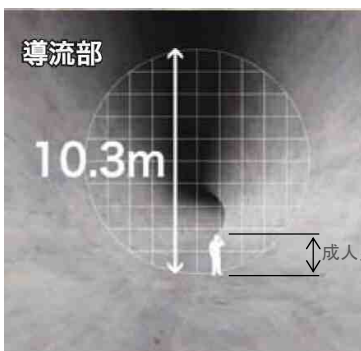
■流入部 イメージCG 遠景



■流入部 断面図

## ■導流部

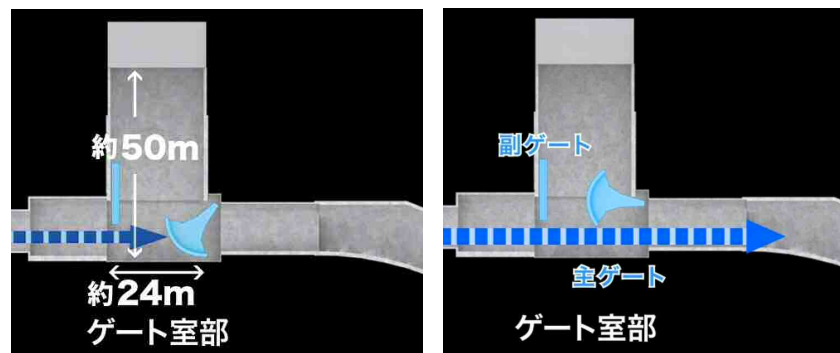
導流部は、ダムの水を下流へ流すための、直径10.3メートルの円形トンネルです。



■導流部 断面CG

## ■ゲート室部

ゲート室部は直径約24メートル、地上からの深さが約50メートルもある円筒形の構造物です。その中に、放流する水の量を調節する主ゲートと副ゲートをそれぞれ2門備えています。ゲート室部の建物は、“里山との調和”をコンセプトに、やわらかな印象となる円柱を基本としたデザインを採用しています。



■ゲート室部 断面図



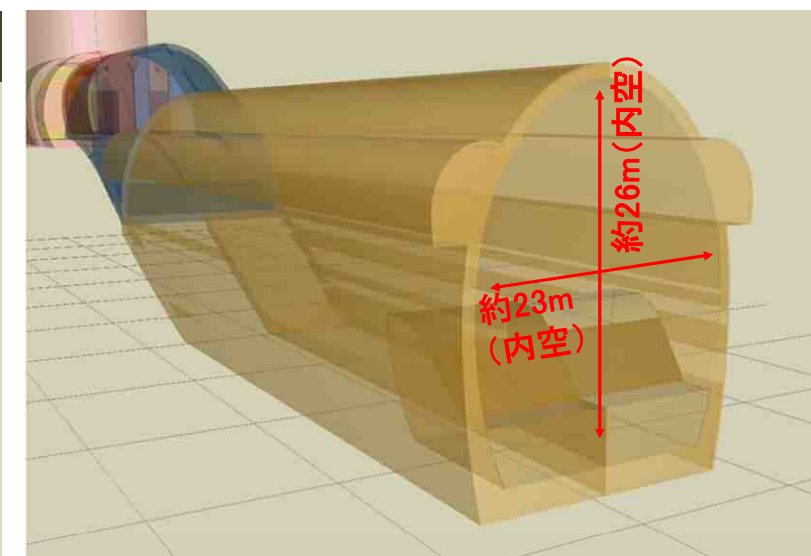
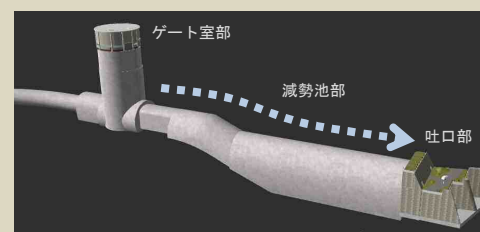
■ゲート室部 イメージCG 遠景



■ゲート室部 イメージCG 道路上からの景観

## ■減勢池部

減勢池部は放流する水の勢いを緩めるための施設で、周辺環境や景観への配慮からトンネル内部に配置しています。また、最大高さ約26メートル、幅約23メートルの大きな断面を持つ、水路トンネルとしては日本最大級の構造を有しています。



■減勢池部 イメージ図

## ■吐口部

吐口部は、トンネル式放流設備を流れてきた水が宇治川と合流するところにある構造物です。“峡谷との調和”をコンセプトに、均整のとれた3枚のたて壁を中心としたシンプルな形とし、表面を石張として、周辺の露岩・護岸や道路と馴染むデザインとしています。



■吐口部 イメージCG

## ■新白虹橋（仮称）

新白虹橋（仮称）は、長さ77メートル、国内ではまだ施工例が少ない「PC吊床版橋」という形式の橋です。“峡谷との調和、虹と清流”をコンセプトとし、橋梁を施工する上で、周辺の自然環境の改変が最少なくて済む形式を採用しています。



■新白虹橋（仮称）イメージCG